

令和5年度 園自己評価表

社会福祉法人 清香会
横浜りとるばんぷきんず

園は常に質の高い保育が求められている。

そのために自己評価を通し保育の専門性を見つめる機会として評価を実施し、さらなる保育の向上を目指していく。

【評価指標】

- A … 適正
- B … 一部、改善を要する理解している
- C … 改善を要する

【評価内容】

1、保育理念・目標・計画・評価

内容	評価	意見・改善策
保育所保育指針と保育理念・目標の関係を理解し、全体の計画を作成している	A	第三者評価を受診し、園の理念や目標などに沿った保育をしているかを職員全体で評価をした。 昨今のこどもを中心とした保育を実現するために、さらなる振り返りと職員の自己成長ができる園づくりをしていく。
全体の計画に基づいた具体的な指導計画を作成している	A	
多様な保育需要に対して地域や保育所の特性を考慮した柔軟な計画を作成している	A	
各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢にあった指導計画・個々の発達にも留意したものを作成している	A	
保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A	

2、保育内容

子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう必要な事項に配慮して保育をおこなっている	A	子どもが活動を選べる選択制保育の充実と日々の保育を充実されることで、行事に向けた保育にならないように活動を計画していく。子どもの自主性を尊重しながら、成長・発達に必要な環境と援助をしていく。 計画類は年・月・週・日・個人で作成して振り返りをし、職員間の共有を図っている。
子どもの気持ちを理解し信頼関係を築いている	A	
子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に勤めている	A	
身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	A	
行事の計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	

3, 園の組織・役割分担

内容	評価	意見・改善策
豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	A	法人内での研修の他に市や区が開催している研修、外部研修に参加することで、職員が学ぶ機会を設けている。園内研修では職員で学びを周知をすることで、保育の知識だけではなく、安全配慮やヒヤリハットについて考える機会をもっている。災害訓点も月1回行っている。
保育に関わるさまざまな知識や技術の向上に努め研修に参加し、自己研鑽を積んでいる	A	
全職員は施設内外の環境維持向上に努め、安全策の共通理解や体制づくりに努めている	A	
職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	A	
火災・地震・不審者侵入などの危機管理に努めている	A	

4, 家庭・地域社会

家庭と連携を図るように努めている	A	登降園システムでの配信、連絡帳で保護者と連携をとる他、送迎時も口頭で日々の様子を伝えている。行事アンケートなど園運営にご意見を取りいれている。
関係機関と連携を図っている	A	
地域や保護者の意見を施設運営に反映している	A	
地域の子育て家庭に対し情報発信をしている	A	

5, 事務管理・運用

個人記録簿は適切に記載し整理保管している	A	個人情報などは鍵のかかる棚にしまい、事務所のみで閲覧ができるようにしている。会計は委託業者とともに管理をしている。
職員に園内で知りえた事柄に対しての守秘義務の周知徹底をしている	A	
各種会計を適正かつ適切に処理している	A	

6, 情報発信

園だより、クラスだより、給食だより、ホームページなどで施設の情報を発信している	A	園だより・ブログ・登降園管理システムを使用し、園での様子が写真・文字で発信をしている。
---	---	---